

2025.8.19

報道関係者 各位

< 配信枚数 2 枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

2025 年 9 月テーマ

「女性と子どもを取り巻く様々な困難を考える」

開催日程：2025 年 9 月 13 日(土)・27 日(土)

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2025 年 9 月の立命館土曜講座は、立命館大学人間科学研究所の企画として「女性と子どもを取り巻く様々な困難を考える」をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 9 月テーマ「女性と子どもを取り巻く様々な困難を考える」

(1) 周縁を生きる女性の子どもの大人への移行: ケアの引き受けと継続の論理

日時：2025 年 9 月 13 日(土) 10:00～11:30 ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

講師：名古屋芸術大学 芸術学部 講師 大久保 遥

(2) 沖縄の貧困を再考する: 子ども、シングルマザーの貧困をめぐって

日時：2025 年 9 月 27 日(土) 10:00～11:30 ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

講師：立命館大学 産業社会学部 准教授 桜井 啓太

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー 400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当: 武田・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 9 月テーマ「女性と子どもを取り巻く様々な困難を考える」

(1) 周縁を生きる女性の子どもから大人への移行：ケアの引き受けと継続の論理

日時：2025 年 9 月 13 日(土) 10:00～11:30

講師：名古屋芸術大学 芸術学部 講師 大久保 遥

講師による内容紹介：

貧困や被虐待、ヤングケアラーなど、今日において子どもたちを取りまく様々な困難の背景にある問題が明らかとなっています。こうした状況に対し教育や支援に関する機関・政策は、子ども達の「自立」を目指し、学習支援や就労支援を通じて、世代的再生産を防ぐことを目指してきました。

しかしながら、個人へのアプローチだけで、子どもは大人への移行過程において家族の困難から免れられるようになるのでしょうか。とくに女性の場合、家族内でケアの役割を担いやすいことが指摘されてきました。ケアというものは、一人では成り立たず、相手との関係性のなかで生じるものです。そのためケア行為は、必ずしも誰かから強制や義務が伴うのではなく、関係性のなかで女性が主体的に引き受けている側面もあります。だからこそ、個人へのアプローチだけでは、女性の移行期における困難を把握することが難しく、移行支援を十分に果たせません。そこで、彼女たちが子どもから大人になるなかでなぜケアを継続するのか、彼女たちを取りまく関係性から、当事者の論理に迫ります。

講座では、子どもから大人への移行期にある彼女たちが、家族をケアする行為からみえるジェンダー構造の問題について、お話ししたいとおもいます。

(2) 沖縄の貧困を再考する：子ども、シングルマザーの貧困をめぐって

日時：2025 年 9 月 27 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学 産業社会学部 准教授 桜井 啓太

講師による内容紹介：

貧困という視点で日本を見渡すと、沖縄は常に際立った位置にあります。1人あたりの県民所得や相対的貧困率は全国最下位であり、失業率・非正規率の高さ、低賃金、離婚率や持ち家率の低さ、そのほか観光業や建設業に偏った産業構造、離島県という地理的制約などさまざまな不利が集積しています。歴史的には、第二次世界大戦の地上戦による影響や、戦後の米国統治における経済・社会保障上の不利もその背景にあります。

子どもの貧困という視点からは、沖縄の厳しい状況がより鮮明に浮かび上がります。就学援助率は全国平均を大きく上回り、特にシングルマザー世帯における貧困は深刻な様相をみせています。こうした状況に対し、沖縄県は 2010 年代前半から毎年実態調査を行い、その把握と対策に取り組んできました。

本講座では、これら構造的な要因を整理しつつ、特に子どもとシングルマザーに焦点を当て、調査によって可視化されてきた貧困の現状と背景を多角的に検討します。沖縄の貧困を「個人の問題」ではなく「社会の課題」として捉え直す視座を共有します。

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>